警査四名ヲ置キ警吏或ハ判任以下ノ官吏ヲ以テ之ニ充テ令狀ノ執行被告人ノ監守護送及ヒ公廷ノ警固其他取締等ノ職務ニ從事セシム

海軍東京軍法會議職定員表

判士長	佐官	一人	
判士	尉官	六人	
錄事	七等官以下	四人	
課僚	八等官以下	二人	
主理	奏任官	二人	
屬僚	八等官以下	三人	
警査	警吏同補警吏等外吏	四人	

（以下次號）

○海軍省達丙第六拾四號　海軍一般

東海鎮守府刑事課監囚課ヲ廢シ同府ニ鎮守府軍法會議幷鎮守府監獄署ヲ設置シ其條例左ノ通相定ム此旨相達候事

明治十七年四月一日　海軍卿　川村純義（以下次号）

○海軍省達丙第六拾五號　海軍一般

罪犯取扱及ヒ行刑ニ關スル手續方法左ノ通相定候條此旨相達候事

明治十七年四月一日　海軍卿　川村純義（以下次号）

○海軍省達丙第六拾六號　海軍一般

海軍警察心得左ノ通相定ム此旨相達候事

但明治十四年丙第六拾五號ハ廢止ス

明治十七年四月一日　海軍卿　川村純義（以下次号）

○海軍省達丙第六拾七號　海軍一般

今般海軍治罪法制定相成候ニ就テハ從前ノ達及指令等該法ニ抵觸スルモノハ總テ廢止ス此旨相達候事

明治十七年四月一日　海軍卿　川村純義（以下次号）

○海軍省達丙第六拾八號　海軍一般

軍人軍屬賭博犯處分ノ儀左ノ通被相達候ニ付右處分細則別紙ノ通相定候條此旨相達候事

明治十七年四月一日　海軍卿　川村純義（以下次号）

叙任

○明治十七年三月十五日

任檢事　檢事補　彦坂秀山

仝　仝　近藤昂瀛

○明治十七年三月廿九日

敍正六位　從六位　安居修瀛

時事新報

商況ノ不景氣回復ノ道アリ

商況沈唖シテ振ハズ職工手ヲ空ウシテ日雇役丁ハ飢寒ニ泣キ通用資金ハ深ク金穴ニ藏メテ其運轉ノ機ヲ止メ坐シテ日ニ殖産ノ衰頽ヲ待ツハ正ニ目下ノ有樣ナリ蓋シ是レ商賣ノ一盛一衰自然ノ數ナレバ自然ニ衰ルモノハ復タ自然ニ盛ナルノ期モアル可シトテ之ヲ度外ニ放却シテ顧ミザルモ亦自カラ一說ナリト雖ヒ元來理財ハ人事ニシテ天事ニ非ズ其盛衰必ズシモ寒暑ノ來往スルガ如ク斷シテ人力ヲ交ユ可ラザルモノトモ云ヒ難シ其盛ナリシヤ人力ニ因スルモノ多シ其衰ルモ亦必ズ之ニ由リダルヿナリ左レバ其衰ヘタルモノヲ回復セシムルニモ幾分カ人力ヲ用テ之ヲ遲遲スルノ効アル可キハ當然ノ數ナリ我輩ノ宿論ニ目下大ニ鐵道敷設ノ工業ヲ起シ其當線ノ各處同時ニ着手セントスルガ如キモ其落成ノ後ニ運輸交通ノ便ヲ取ルハ無論ナレヒ唯其起業ノ一事ノミニテモ商況回復ノ機ヲ促カスニ足ル可シト信スルモノナリ鐵道敷設ノ爲ニハ仮令ヒ政府ニテ公債ヲ募集スルニモ又或ハ人民ノ會社ニテ株金ヲ集ルニモ金滿庫中ニ蟄伏セル死財ヲ流用スルモノニシテ其流通スル所ヲ尋レバ工事當局ノ役員學士ナリ職工日雇役丁ナリ木商ナリ鐵商ナリ大工ナリ石屋ナリ先ヅ直接ニ此種ノ人ノ手ニ金ヲ收領シテ其金必ズシモ其手ニ留ラズ、變シテ衣服トナリ飲食トナリ或ハ私家營繕ノ費ト爲ルモアラン或ハ一身奢侈ノ費ト爲ルモノモアラン幸ナルハ貯蓄銀行ニ入リ不幸ナルハ一席ノ愉快ニ散シ尙不幸ノ下等ナルハ一夜ノ博奕ニ消ヘテ痕ナキモノモアラン千種万樣傳ヘ又傳ヘテ際限ヲ知ル可ラズ即チ間接ニ金運動スル處ニシテ概シテ之ヲ名ケテ世ノ中ノ繁昌ト云フ明治十年西南ノ役ニ九州地方ノ繁昌シテ民間古來未曾有ノ盛ヲ極メタルモ當時軍費ト名ル資金ガ其地方ニ運動シタルガ爲ナリ西南ノ役ハ唯武器ヲ以テ人ヲ殺スノミノ事ニシテ跡ニ遺ルモノハ古戰場ナリト雖ヒ鐵道ノ敷設ニ由テ遺ルモノハ古戰場ニ非ズ其利益ハ千百年ニ傳ヘテ人ヲ富マシ人ヲ濟フ可シ人ヲ殺スノ事、尙且一時ノ繁盛ヲ致シテ人ヲ滿足セシメタリ況ヤ人ヲ濟フノ鐵道ヲ敷設シテ鴻益ヲ千百年ニ遺ス其上ニ目下ノ繁盛ハ戰爭ニ等シキモノアルニ於テヲヤ我輩ノ切ニ冀望スル所ノモノナリ

或ハ心ヲ轉シテ一方ヨリ考レバ鐵道ノ工業大ナリト雖ヒ日本社會全体ノ事ニ比スレバ其一小部分タルニ過キズ斯ル小事業ヲ以テ商況ノ全面ニ新活氣ヲ與ヘントスルハ座上ノ論ノ如クニモ思ハルレヒ又決シテ然ラザルノ理由アリ今ノ商況不景氣ハ既ニ其徵候ヲ現ハシテヨリ三年ニ近シ此際ニ全國民ノ有樣ハ何事モ扣目ニシテ隨分節儉ハ行屆キタリント雖ヒ人間ノ日常物ヲ用レバ必ズ消滅セザルヲ得ズ今日一物ヲ消シ明日一品ヲ減シ三年ノ久シキ人民ノ家ニ需要品ヲ入レズ商人ノ店ニ賣物ヲ仕入レズ唯減スルアリテ增スヿナキ其堪忍ノ程度モ事實ノ要ニ迫ラレテ將サニ破レントスルノ界ニ近ツキタルヿナレバ此時ニ當テ何カ商機ヲ一轉スルノ端ヲ開クモノアレバ忽チ新活氣ヲ呈ス可キヤ甚タ儘ナル可シ既往ヲ回想スレバ商況不景氣ノ端ハ既ニ明治十四年ノ末ニ發シテ尙未タ著シカラザリシモノガ十五年ノ夏橫濱ノ生糸聯合會社ノ事ヨリ引續イテ生糸商人ノ失敗スル者多ク此處ニ借用金ノ滯リアリ彼處ニ品代價ノ不拂アル等ニテ商賣社會ニ疑念ヲ生スルノ端ヲ開テヨリ商人等ハ恰モ眠ノ驚キタルガ如ク醉ノ醒メタルガ如ク駸々歩中頓ニ後顧シテイ留カラ一說ナリト雖ヒ元來理財ハ人事ニシテ天事ニ非ズ其盛衰必ズシモ寒暑ノ來往スルガ如ク斷シテ人力ヲ交ユ可ラザルモノトモ云ヒ難シ其盛ナリシヤ人力ニ因スルモノ多シ其內ニ催フシタダル不景氣ノ機ヲ發表セシムルノ器械タリシヤ明ナリ一夜ノ秋風必ズシモ落葉ノ本源ニハ非ザレヒ滿地ノ黃葉ヲ見レバ夜來ノ風ニ吹カレタルモノト云ハザルヲ得ザルナリ不景氣ノ發端果シテ我輩ノ臆測スル如ク生糸商ノ失敗ニ在リトスルヒハ今鐵道ノ工業ヲ起シテ各地方ニ資本ノ運動ヲ生シ各種ノ人ヲシテ直接間接ニ利益ヲ得セシメ一時其部分ノ繁盛ヲ致スハ亦是レ商況回復ノ發端タル可キヤ疑ヲ容レズ殊ニ我輩ノ說ニ從ヘバ其工事ヲ一方ノ端ヨリ始ルニ非ズ些少ノ冗費ヲ厭ハズシテ通線ノ各處ニヨリ起ラントスルモノナレバ其區域甚タ狹カラズ全國ノ內部既ニ景氣ノ回復ヲ釀シ將サニ發セントシテ其機ヲ得ザリシモノガ奥州、信越、中山道、東海道ヨリ西ハ中國九州ニ至ルマデ其線路ハ二三ナルモ工業ノ點ヲハ幾ケ所ニモ分テ着手シタラバ全國恰モ幾ケ所ノ小戰爭ヲ出現シテ今日ノ沈吟悲嘆ハ忽チ變シテ狂奔歡喜ノ聲ト爲リ全般ノ商況コレニ伴フテ新活氣ヲ發スル其趣ハ淸明ノ桃李微雨ニ促サレテ蕾ヲ破ルガ如キモノアラン過般政府ニテハ中山道鐵道敷設ノ爲ニ二千万圓ノ公債証書ヲ發シテ之ニ應スル者甚タ少ナカラズ此機ニ乘シテ尙其規模ヲ大ニシ各地方同時ニ工ヲ起スハ永年鐵道ノ鴻益ト目下商況ノ回復ト一舉兩全ノ得策ナル可シ若シ或ハ商況ノ回復スルニ從テ公債証書ノ價モ下落シ却テ之ヲ望ム者少ナカラントノ掛念モアルガ如クナレヒ既ニ公債証書ヲハ外國人ニモ所有ヲ許シタル以上ハ証書ノ名義ヲ改メテ外國債ト爲シ外國ニ行テ外人ノ資金ヲ借用シテ可ナリ鐵道ノ資本ハ乏シカラザルナリ

電報

○三月三十日龍動發　英女皇の第七子アルバニー侯レオポルト親王は一昨日佛國のカンに於て薨去す侯の病は中風症なりしと云へり

雜報

○御陪食　聖上よは昨一日宮中へ皇族大臣參議の方々を召させふれ正午の御陪食を仰付ふれし上過日の御遊藝に獲させ給ひし兎等を夫々へ御分賜ふ成りたるよし

○神武天皇祭　明日は神武天皇祭に付　聖上には午前十時宮中賢所へ出御舊例に倣はせ給ひ御親祭在せられ畢て皇太后宮皇后宮御參拜引續きて親王大臣參議並に勅任ノ方々參拜仝十一時より齋香間祗候の人々又午後一時より三時迄各廳奏任官進奏任御用掛神宮奏任以上敬導職六級以上有位華族の人々へ參拜を仰付けらるゝ旨昨日夫れ〳〵へ御沙汰あり し由

○アルバニー侯薨去餘聞　同侯が去月二十八日佛國カンにて薨去せられたる由は不取敢昨日の紙上に掲載せしが後報に英女皇第七の皇子にして寵愛特に深かりしが溜樹の貴何分虛弱ナ渡ふせふれ常ふ學事を勉励して一室に閉ち籠り居ふると多かりしが一昨年荷蘭女皇の皇孫ウルデンブル、ヒ